

家政学部建築・デザイン学科 3 年生による

ワークショップ型演習「建築&デザイン総合演習」による神保町を舞台とした地域連携プロジェクト

建築 & デザイン総合演習とは？

家政学部建築・デザイン学科の建築コース・デザインコースの 2 コース、建築分野・インテリア分野・まちづくり 分野・グラフィック分野・プロダクト分野の 5 分野の学部 3 年生が垣根を越えて、横断的に繋ぐチームを編成し、互いに競い合いながら、「空間」と「モノ」を対象として、リアルな社会課題に対して提案を行い、作品を制作するのがこの演習 です。よって学科の全教員が指導にあたります。

産学連携の課題だけでなく、毎年「神保町を元気にする」をテーマに、各チーム で神保町を調査し、必要な空間・機能・モノを抽出し具体的な空間とそこで必要 な家具やサイン等をトータルに計画し、創造・提案することを行っております。

毎年、最終講評会には地元の方々をお招きして様々なご意見をいただいております、今年度は共立祭との合同開催とし、神保町や千代田区関係者はもちろんのこと、高校生や保護者の方々などで会場は大盛況でした。

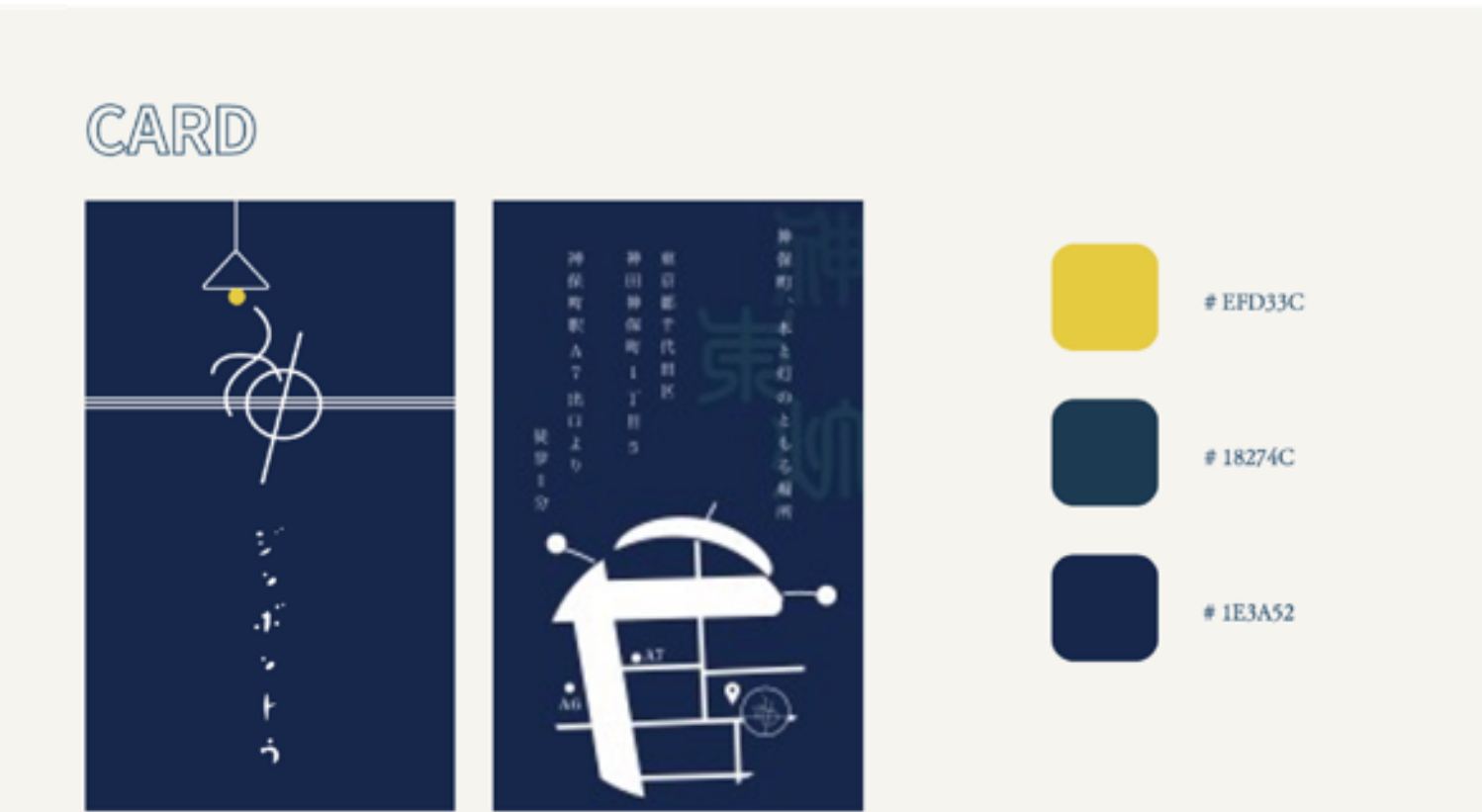
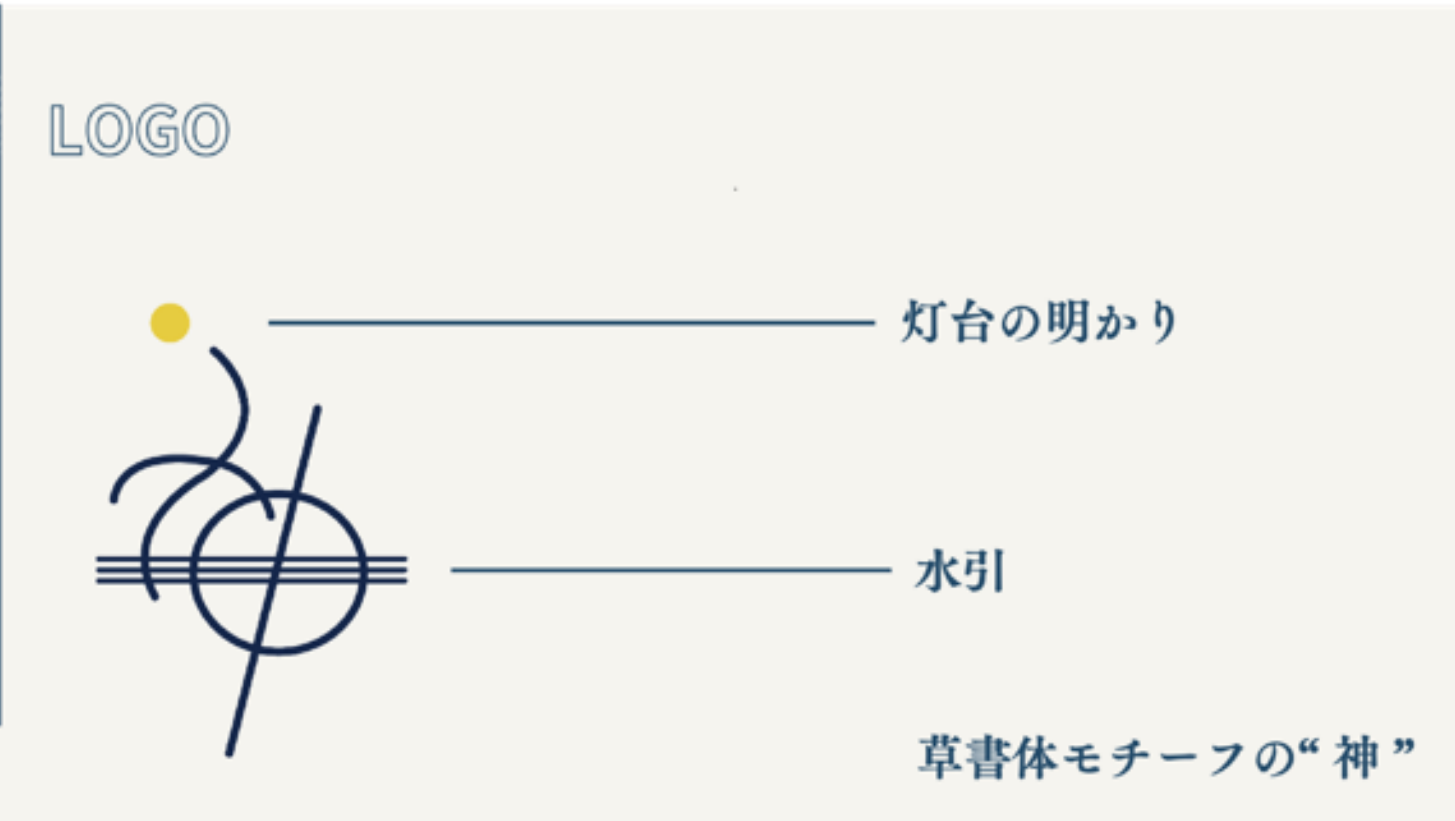
今年度は「じんぼうちょうの住処（すみか）計画」と題した、すずらん通りにじんぼうちょうと学生たちが、家をまちに開く「いえ開き」をするという前提のもとにすずらん通りの敷地を用いて、原則、1-2 階がじんぼうちょうの活動場所（まちとの接点）、3 階以上には神保町とじんぼうちょうを愛する人たち（学生）が住むシェアハウスを計画します。

この演習課題は夏季集中講義であり、夏休み最後の 1 週間でアウトプットまで作成するという非常にハードなスケジュールにも負けず、学生たちは作業を行ってきました。



じんぼうちょうのすみか計画

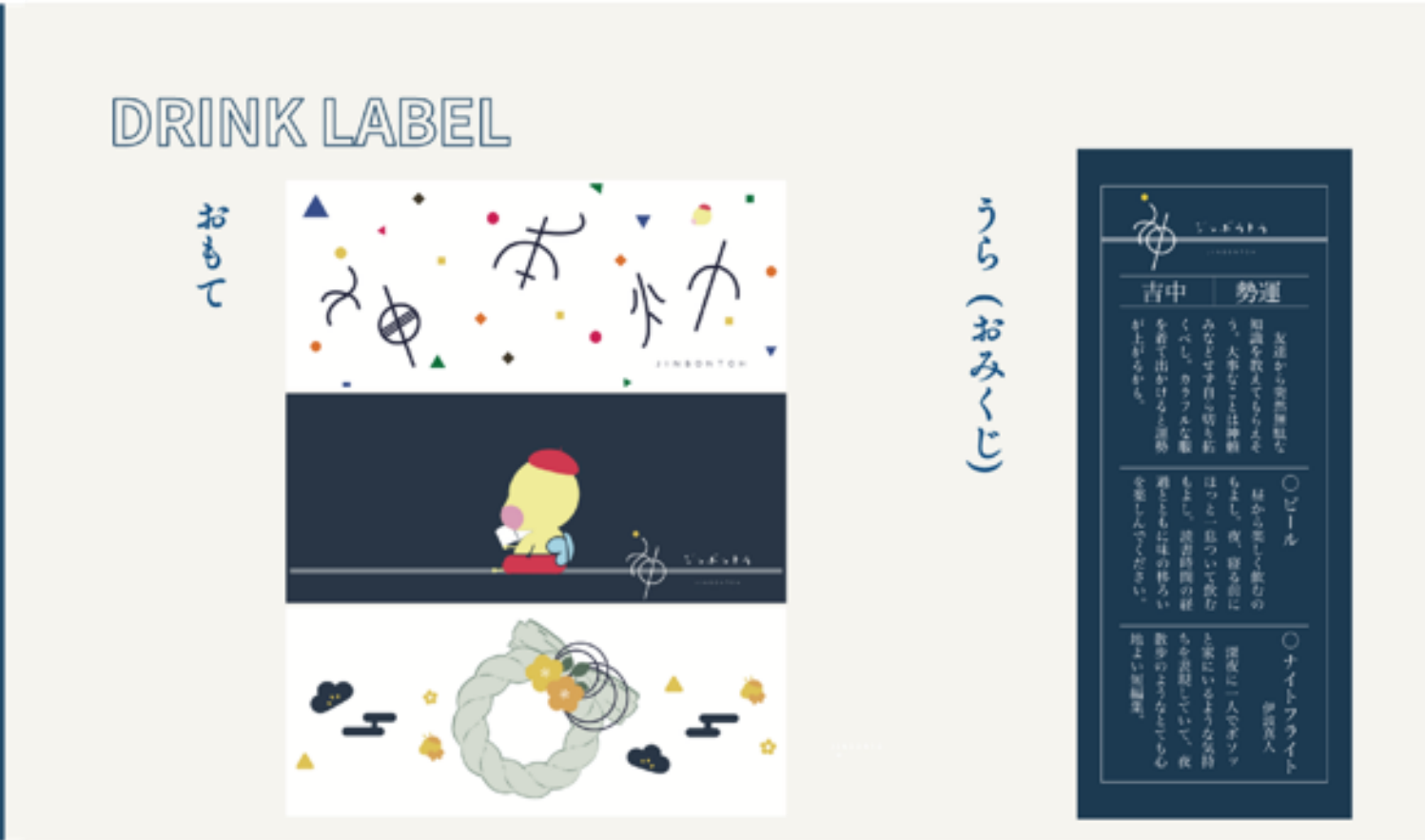
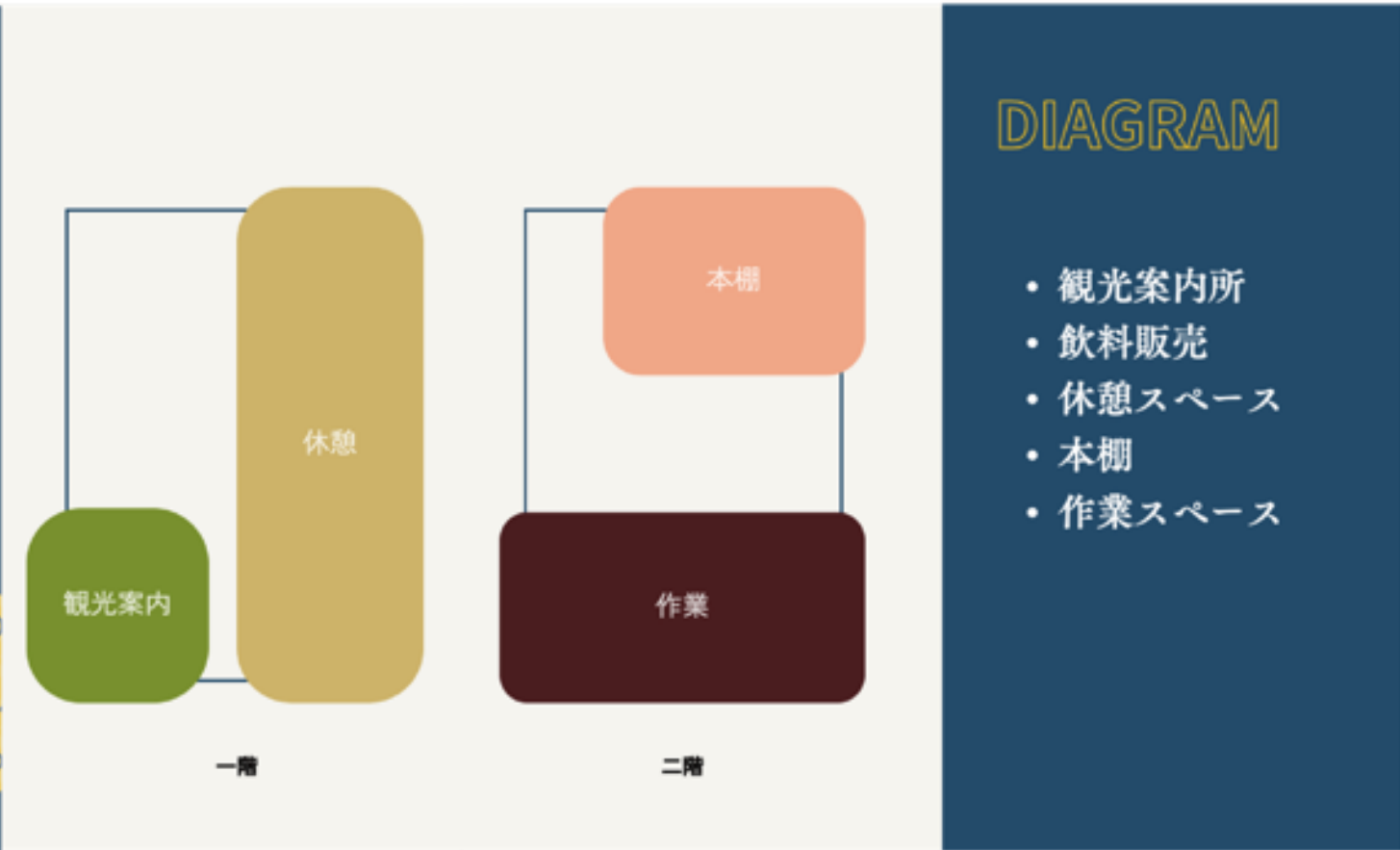
2025 年 5 月 5 日に、御茶ノ水ソラシティにて開催された「ひじりばし博覧会 2025」に出展した作品のうちのひとつが「神本灯 - 本と灯のともる場所」です。神保町の現状を丹念にリサーチし、そこから得られた知見を自分たちの提案に活かしています。



▲タイトルシート

▲ロゴデザイン

▲ショップカード



▲アジェンダ

▲ダイアグラム

▲ドリンクラベル



▲神本灯の由来

▲1 階平面図

▲フリーペーパー



▲コンセプト

▲2 階平面図

▲グッズ